

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年1月16日(2014.1.16)

【公表番号】特表2013-512279(P2013-512279A)

【公表日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【年通号数】公開・登録公報2013-017

【出願番号】特願2012-542154(P2012-542154)

【国際特許分類】

C 07 K	19/00	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
A 61 P	37/06	(2006.01)
A 61 K	45/00	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
A 61 P	37/08	(2006.01)
A 61 P	11/06	(2006.01)
A 61 P	17/04	(2006.01)
A 61 P	11/02	(2006.01)
C 07 K	14/705	(2006.01)
C 12 N	15/09	(2006.01)

【F I】

C 07 K	19/00	
A 61 K	37/02	
A 61 P	37/06	
A 61 K	45/00	
A 61 P	43/00	1 2 1
A 61 P	37/08	
A 61 P	11/06	
A 61 P	17/04	
A 61 P	11/02	
C 07 K	14/705	Z N A
C 12 N	15/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

$R_0$ がSEQ ID NO:4を含み、かつ $X_1$ が

TT QSLKQLEERA ARNVSQVSKN LESHGDQMA QKSQSTQISQ

ELEELRAEQQQ RLKSQDLELS WNLNGLQADL SSFKSQELNE RNEASDLLE

LREEVTKLRM ELQVS

または少なくとも15アミノ酸の連続断片を含む、式 $X_1-R_0$ の化合物。

【請求項2】

$R_0$ がSEQ ID NO:4を含み、かつ $X_2$ が、SEGSAE、SEGSA、SEGS、SEG、SE、S、L、または-CO

OHを含む、式R<sub>0</sub>-X<sub>2</sub>の化合物。

【請求項3】

R<sub>0</sub>がSEQ ID NO:4を含み、

X<sub>1</sub>が

TT QSLKQLEERA ARNVSQVSKN LESHGDQMA QKSQSTQISQ

ELEELRAEQQQ RLKSQDLELS WNLNGLQADL SSFKSQELNE RNEASDLER

LREEVTKLRM ELQVS

の少なくとも15連続のアミノ酸を含み、かつ

X<sub>2</sub>が、SEGS<sub>E</sub>、SEGSA、SEGS、SEG、SE、S、L、または-COOHを含む、式X<sub>1</sub>-R<sub>0</sub>-X<sub>2</sub>の化合物。

【請求項4】

PEG化されている、請求項1、2、または3記載の化合物。

【請求項5】

CD21に結合しない、請求項1、2、3または4記載の化合物。

【請求項6】

IgEに対する高親和性結合部位を含む、請求項1~5のいずれか一項記載の化合物。

【請求項7】

高親和性結合部位が、SEQ ID NO:4のアミノ酸置換D107Eによって形成される、請求項1~6のいずれか一項記載の化合物。

【請求項8】

請求項1~7のいずれか一項記載の化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、IgEを隔離するための組成物。

【請求項9】

請求項1~7のいずれか一項記載の化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、アレルゲンに対する対象の免疫応答を低下させるための薬学的組成物。

【請求項10】

アレルゲンに対する免疫応答を有するリスクを有する対象に予防的に投与されるためのものである、請求項9記載の薬学的組成物。

【請求項11】

アレルゲンに対する曝露後に対象に投与されるためのものである、請求項9記載の薬学的組成物。

【請求項12】

ステロイド治療と組み合わせて使用される、請求項9記載の薬学的組成物。

【請求項13】

アレルギー注射と組み合わせて使用される、請求項9記載の薬学的組成物。

【請求項14】

アレルゲンが、食物アレルゲン、花粉、植物アレルゲン、チリダニ、動物の鱗屑、昆虫の針、真菌、胞子、カビ、ラテックス、または薬物である、請求項9記載の薬学的組成物。

【請求項15】

対象がアレルゲンに対する免疫応答を有する、請求項9記載の薬学的組成物。

【請求項16】

請求項1~7のいずれか一項記載の化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、対象におけるIgE媒介性疾患を処置するための薬学的組成物。

【請求項17】

IgE媒介性疾患が、アレルギー、アナフィラキシー、喘息、湿疹、および鼻炎からなる群より選択される、請求項16記載の薬学的組成物。

【請求項18】

請求項1~7のいずれか一項記載の化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む

、アレルゲンに対する慢性的な免疫応答の発生を低下させるための薬学的組成物。

**【請求項19】**

請求項1~7のいずれか一項記載の化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、アレルギー治療またはアナフィラキシー治療によって処置される対象においてアレルギー治療またはアナフィラキシー治療の用量を低下させるための薬学的組成物

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0042

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0042】**

本明細書および添付の特許請求の範囲において用いられる、単数形「1つの(a)」、「1つの(an)」、および「その(the)」は、本文が明らかにそれ以外であることを明記している場合を除き、複数形を含む。このように、例えば、「方法」という言及は、本明細書において記述される、および/または本開示を読むことによって当業者に明らかとなるであろう等の1つまたは複数の方法、および/またはそのタイプの段階を含む。

**【本発明1001】**

$R_0$ がSEQ ID NO:4を含み、かつ $X_1$ が

TT QSLKQLEERA ARNVSQVSKN LESHGDQMA QKSQSTQISQ

ELEELRAEQQ RLKSQDLELS WNLNGLQADL SSFKSQELNE RNEASDLER

LREEVTKLRM ELQVS

または少なくとも15ヌクレオチドの連続断片を含む、式 $X_1-R_0$ の化合物。

**【本発明1002】**

$R_0$ がSEQ ID NO:4を含み、かつ $X_2$ が、SEGS、SEGSA、SEGS、SEG、SE、S、L、または-COOHを含む、式 $R_0-X_2$ の化合物。

**【本発明1003】**

$R_0$ がSEQ ID NO:4を含み、

$X_1$ が

TT QSLKQLEERA ARNVSQVSKN LESHGDQMA QKSQSTQISQ

ELEELRAEQQ RLKSQDLELS WNLNGLQADL SSFKSQELNE RNEASDLER

LREEVTKLRM ELQVS

の少なくとも15連続のアミノ酸を含み、かつ

$X_2$ が、SEGS、SEGSA、SEGS、SEG、SE、S、L、または-COOHを含む、

式 $X_1-R_0-X_2$ の化合物。

**【本発明1004】**

PEG化されている、本発明1001、1002、1003または1004の化合物。

**【本発明1005】**

CD21に結合しない、本発明1001、1002、1003または1004の化合物。

**【本発明1006】**

IgEに対する高親和性結合部位を含む、本発明1001~1005のいずれかの化合物。

**【本発明1007】**

高親和性結合部位が、SEQ ID NO:4のアミノ酸置換D1073によって形成される、本発明1001~1006のいずれかの化合物。

**【本発明1008】**

本発明1001~1007のいずれかの化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含む、IgEを隔離するための組成物。

**【本発明1009】**

本発明1001~1008のいずれかの化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含有す

る薬学的組成物を対象に投与する段階を含む、アレルゲンに対する対象の免疫応答を低下させるための方法。

[本発明1010]

薬学的組成物が、アレルゲンに対する免疫応答を有するリスクを有する対象に予防的に投与される、本発明1009の方法。

[本発明1011]

薬学的組成物が、アレルゲンに対する曝露後に対象に投与される、本発明1009の方法。

[本発明1012]

ステロイド治療を施す段階をさらに含む、本発明1009の方法。

[本発明1013]

アレルギー注射を前記個体に投与する段階をさらに含む、本発明1009の方法。

[本発明1014]

アレルゲンが、食物アレルゲン、花粉、植物アレルゲン、チリダニ、動物の鱗屑、昆虫の針、真菌、胞子、カビ、ラテックス、または薬物である、本発明1009の方法。

[本発明1015]

アレルゲンに対する免疫応答を有する個体を選択する段階をさらに含む、本発明1009の方法。

[本発明1016]

本発明1001～1008のいずれかの化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含有する薬学的組成物を対象に投与する段階を含む、対象におけるIgE媒介性疾患を処置するための方法。

[本発明1017]

IgE媒介性疾患が、アレルギー、アナフィラキシー、喘息、湿疹、および鼻炎からなる群より選択される、本発明1016の方法。

[本発明1018]

本発明1001～1008のいずれかの化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含有する薬学的組成物を対象に投与する段階を含む、アレルゲンに対する慢性的な免疫応答の発生を低下させるための方法。

[本発明1019]

本発明1001～1008のいずれかの化合物の有効量と、薬学的に許容される担体とを含有する薬学的組成物を、アレルギー治療またはアナフィラキシー治療によって処置される対象に投与する段階を含む、アレルギー治療またはアナフィラキシー治療の用量を低下させるための方法。